

地域の未来と共に

シップヘルスケアグループは、創業以来、ボランティア清掃活動や公共設備の維持管理など地域活動に力を入れてきました。企業市民として、地域への感謝を忘れず地域創生に資する取り組みを続けてまいります。

注力アクションテーマ

地域社会との共生、市民の健康増進

VOICE



公共空間づくりを通じて
地域社会に
「恩返し」をする

グリーンホスピタルサプライ株式会社
Well-Being推進事業室 白石 敦司

私たちの社会貢献は、病院づくりをはじめとしたヘルスケア領域の取り組みだけではありません。事業拠点の周辺地域への「恩返し」として、自治体などと連携しながら、公園や学校の魅力向上にも貢献しています。

地域の人々への思いを込めた、Well-Beingな公共空間づくりもまた、「生命を守る人の環境づくり」というシップヘルスケアのグループミッションにつながります。地域の人々が健康で幸せに暮らせるように、これからも力を尽くします。



地域社会との共生、市民の健康増進

献血啓発活動へ協力

当社グループは、献血推進に貢献するべく、大阪府赤十字血液センター様とガンバ大阪様とともに「いのちのパスプロジェクト」に賛同し、大阪府下の小中学校を対象にポスターを制作・配布するなど啓発活動を行っています。



社内献血風景

少子高齢化の影響などにより、献血者数が年々減少し、特に若年層の献血者は減少傾向にあります。当グループはこの「いのちのパスプロジェクト」への協力を通じて、当社のSDGs活動における中核目標である「3 すべての人に健康と福祉を」に貢献し、「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の姿勢を大切に、今後も献血をより身近に感じていただき、より多くの方にご協力いただけるよう啓発活動を行ってまいります。

「いのちのパスプロジェクト」とは

病気の治療や手術で輸血が必要な患者様へ「いのちのパス」を届けたい、献血の輪を拡げることで「誰かのために」を考える人を増やしたい。そんな想いを起点に大阪府赤十字血液センター様を中心に在阪のスポーツチームがパスをつなげるようなデザインのポスターを制作し、行っている啓発活動です。

吹田市立学校・保育施設などの包括管理業務受託



当社グループは、吹田市の小・中学校、保育園等合計84施設での施設管理業務などを2023年10月から5年間にわたり受託しました。当社グループの警備・給食や施設管理などのノウハウを活かし、地域との連携・共創をしながら人々のWell-Beingへ貢献してまいります。

当社グループは、吹田市の小・中学校、保育園等合計84施設での施設管理業務などを2023年10月から5年間にわたり受託し

官民連携、地域に根差した事業の推進

当社グループは本社がある大阪府吹田市をより魅力的な地域とするため、2022年より、江坂公園（江坂図書館含む）と桃山公園の魅力向上事業を受託しています。2023年4月にリニューアルし、新しい図書館やカフェなど民間企業の機微を活かした、地域活性化につながる活動が本格始動しました。2025年4月、江坂公園での地域イベント「Well Being ESKA」ではバドミントンの桃田賢斗選手を招き、不登校や引きこもり生徒を支援しました。さらに、2つの公園の清掃ボランティアや本社周辺の歩道清掃、竹林整備、プランターの植替えなどボランティア活動を実施し、吹田市より環境表彰を受けました。より良い街づくりを推進し、Well-Beingの実現を目指していきます。



Well Being ESKA
ポスター



令和7年度吹田市環境表彰式

パラスポーツの支援

当社グループの酒井医療株式会社では、日本ボッチャ協会をはじめ、さまざまなパラスポーツ団体のオフィシャルサプライヤーとして選手のコンディショニングやトレーニングに使用する機器の提供、動作解析の計測サポートなどの支援を行っています。また、社員によるパラスポーツの体験や応援、ボランティア参加を通じて共生社会の実現を目指していきます。

